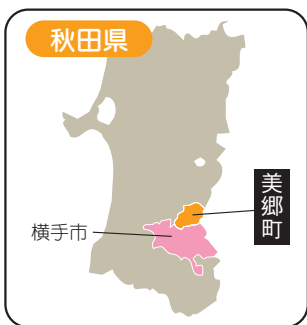


先進地視察で まちづくり学ぶ

常任委員会では毎年、先進地に向いての町外調査を実施しています。ここではその概要についてお伝えします。



町長などからまちづくりについて説明を受けました（秋田県美郷町）



総務常任委員会と教育民生常任委員会は、10月26日と27日に秋田県的美郷町を訪ねました。
美郷町の人口は、約2万2000人、一般会計の予算規模は約109億円、農業を主な産業とする町です。

総務

協働参画と地域づくりを調査

総務常任委員会は「協働参画（住民参加）のまちづくり」と「活力ある地域づくり」について、調査を行いました。

美郷町は平成20年に住民がお互いに支え合い助け合う気風の醸成、行政と地域住民が役割分担をしつつ互いに協力・補完する関係の構築、地域づくりの活性化などを目的とする「住民参画のまちづくりに関する基本的な方針」を策定しました。

21年には住民活動の拠点となる施設、美郷町住民活動センター「みさぼーと」を開設。コーヒーネーター3人が常駐し住民活動のサポートやコーヒーネット業務を行っています。

感想

ボランティアの活動拠点を整備し、コーヒーネーターを常駐させることで、自分たちのことは自分たちでしようという住民の潜在意識を掘り起こすことがで

きたのではないかとのことであった。学校支援ボランティアからは「自分にとっても良い刺激になった」等の声が寄せられているようである。登録者の大部分が高齢者ということから、生きがいづくり、元気老人を増やす施策にもつながるのではないかと感じた。少子高齢化が進む中、住民協働を進める上で高齢者の協力は不可欠である。

研修全体を通して、行政も住民も町づくりに一生懸命取り組んでいると感じた。本町の参考になる点も多く、大変有意義な研修であった。

教育民生

学校給食と地販地消を調査

教育民生常任委員会は、「学校給食における地場産物の活用」「地販地消」をテーマに調査を行いました。美郷町は「美郷町食育推進計画」を策定し、「今よりも少し、食を気にしてみよう！」をキャッチフレーズに基本方針とそれを達成するための具体的な目標、その目標を達成するための役割・取り組みを定めています。また、町内産品等の

地域内流通ならびに消費拡大を促進し、町の産業の発展と町民生活の安定向上、ふるさと意識と地域融和の向上に寄与することを目的に「美郷町地販地消推進条例」が制定されています。

感想

米食、パン食においても町で関与せず町内業者からの納入で実施している。本町においても地域食材の安

定した計画供給を検討し、産業振興の底上げにもつながる方法を熟慮・計画・実施すべきと考える。

地販地消推進条例を策定し、事業者・町民・町それぞれの役割を明示し目的に向かって事業に取り組んでいく体制は素晴らしい発想である。商工業をはじめ農林水産業の活性化の一つの事例として学ぶべきものが多々あった。町産物などの販売・食事の提供をする道の駅および温泉宿泊施設の運営、地販地消認定店制度